

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (12月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①主体的で体験的な学習やICT教育を通して、基礎学力の伸長や表現力の育成を図る。</p> <p>②福祉体験などを充実させることで「福祉の心」を育み、他者を尊重し、協働して地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>①ICTの活用等、生徒が学習に対して主体的に取り組み、表現するための方策を継続して検討し構築する。</p> <p>②福祉に触れる機会をさらに充実させ、「他者を思いやる力」「他者から学ぶ力」を身に付けさせる。</p>	<p>①ICT環境や校外の教育資源、chromebookを積極的に活用し、基礎学力の伸長や表現力を育成する教育方法を継続して検討し構築する。</p> <p>②総合的な探究の時間、選択科目、課外のボランティア活動などにより、生徒と福祉の接点を持たせる。</p>	<p>①chromebookを有効に活用したか。学びそびれの生徒が前年度より減少し、学習に対する姿勢や成果に前向きな変化が見られたか。</p> <p>②生徒の福祉に対する関心・意欲が向上したか。また、ボランティアなどに参加する生徒が増加したか。</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①個々の生徒の特徴や傾向を理解した上で指導に当たり、生徒の自己指導能力を育成することで問題行動の未然防止を図る。</p> <p>②多様化の進む生徒の特性を多面的に理解し、生徒個々の教育的ニーズに即した、より適切で必要な支援体制の充実を図る。</p>	<p>①生徒の自己指導能力を育成するために学校生活のルール明示化及び、交通安全教育の推進を図る。</p> <p>②SCやSSW、スクールメンターや外部機関との連携により、職員全体で活用できる教育相談体制の充実を図り、周知、共有する。</p>	<p>①学校生活におけるルールを精査し、明示、徹底するとともに、計画的に交通安全教育を行うことで、交通事故を減らす仕組みを作る。</p> <p>②生徒一人ひとりのニーズや特性に即した教育相談体制「綾西支援モデル」を充実させ、活用できるよう整備する。</p>	<p>①学校生活におけるルールが浸透しているか。交通安全教育の推進により、交通事故、特に自転車事故の発生件数を減らすことができたか。</p> <p>②「綾西支援モデル」に基づいたケース会議の開催件数、及びフードバンクなど外部機関との連携回数。</p>					
3 進路指導・支援	<p>①基本的な生活習慣や基礎学力を伸長し、多様性を強みに個性を伸ばすキャリア教育を推進する。</p>	<p>①生徒一人ひとりが社会的・職業的な自立に向けて主体的に取り組むような仕組みを工夫する。</p>	<p>①-1 学年進行に適した進路支援ツール等(適性検査、小論文ワーク)を活用し、生徒の主体的な学びを推進する。</p> <p>①-2 インターンシップやアドバンスタイムを充実させ、生徒の参加を推進し、主体的に取り組む態度を身に付けさせる。</p>	<p>①-1 進路支援ツールの活用状況。</p> <p>①-2 インターンシップやアドバンスタイムへの参加人数が増加し、生徒の主体的な取り組みが増えたか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (12月 日実施)	総合評価(3月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
	②特性による学習上又は生活上の困難の改善、克服を目的とした通級による指導を実践する。	②生徒の個性や特性を理解し、通級指導や教育相談をはじめとした支援システムを利用し、生徒一人ひとりに応じた支援体制の定着を図る。	②生徒の特性を理解した支援体制を構築するとともに、SC、SSW、メンターと連携し、特性に応じた支援システムを全職員で推進する。	②通級による指導や教育相談活動を全職員で推進し、個々の困難を改善させることができたか。 ②学年、SC、SSW、メンターの情報が共有されているか。					
4 地域等との協働	①生徒の活動の質の向上を図り、生徒主体の地域貢献活動を推進し、未来社会を生きるために必要な力を育成する。 ②PTAや地域と協働・連携して活動する場を増やし、社会性や連帯性を身に付けることにより、地域社会に貢献する意識を高める。	①生徒会活動・部活動、学校行事において、地域と連携した生徒主体の活動の場を設けることで、生徒に主体的に活動する力・判断する力を身に付けさせる。 ②PTAや綾瀬市など地域との連携を図り、生徒の活動の中で出た意見や課題を教育活動に反映する。	①生徒会活動・委員会活動・部活動の活性化を図るとともに、地域貢献活動を計画し、生徒が主体的に活動する場を充実させる。 ②PTAや綾瀬市など地域と連携した行事や自治体との協働による行事に積極的に参加する。	①生徒会活動・委員会活動・部活動において、生徒が主体的に体験活動を計画して参加することができたか。 ②地域と連携した活動に積極的に参加することができたか。					
5 学校管理 学校運営	①学校運営協議会委員をはじめとした多様な人材の意見を集め、社会に開かれた安全で安心な学校づくりを目指す。 ②組織的、計画的、継続的に校内研修を行うことで、教員一人ひとりの資質と学校の教育力の向上を目指す。	①社会に開かれた安全で安心な学校づくりに向けて、学校運営協議会を活用して教職員の意識啓発を図る。 ②教員の資質及び教育力の向上を目指し、支援教育や人権意識を高めるための校内研修を行う。	①学校運営協議会や学校設置部会において、意見聴取や情報収集の機会を設ける。 ②支援教育や人権意識に係る研修に取組み、知識やスキルを体得するとともに、それらを校内で共有するシステムを構築する。	①学校運営協議会や学校設置部会からの提案を実現することができたか。 ②支援教育や人権研修に積極的に取組み、教育実践に活かす知識やスキルを体得できたか。また、それらを校内で共有することができたか。					